

# 『腎臓病学の課題と未来 —Nephrology Frontier 誌の足跡と貢献—』



左から柏原先生、木村先生、富野先生、細谷先生、秋葉先生

腎臓病に関する雑誌をつくりたいという  
思いで富野康日己先生ご主導のもと、腎臓  
病学の基礎および臨床の様々な情報を発信  
してきた本誌も今回で最終号となる。今回  
は、本誌における最後の座談会として、15  
年間ご指導をいただいた編集委員の5名の  
先生方にお集まりいただき、「腎臓病学の課  
題と未来 —Nephrology Frontier 誌の足跡と  
貢献—」というテーマの下、腎臓病学のこ  
れからについて、お話をいただいた。

## I はじめに

富野 — 本日は大変お忙しいところ、  
『Nephrology Frontier』の座談会にお集まりいた  
だきまして、誠にありがとうございます。本日は  
最終号の座談会として、「腎臓病学の課題と未来

出席者（発言順、敬称略）

### 富野康日己（司会）

Yasuhiko TOMINO  
順天堂大学 名誉教授  
医療法人社団 松和会 常務理事

### 秋葉 隆

Takashi AKIBA  
医療法人社団関川会 関川病院 院長

### 木村健二郎

Kenjiro KIMURA  
独立行政法人地域医療機能推進機構 東京高輪病院 院長

### 細谷 龍男

Tatsuo HOSOYA  
東京慈恵会医科大学 名誉教授  
慢性腎臓病病態治療学 教授

### 柏原 直樹

Naoki KASHIHARA  
川崎医科大学腎臓・高血圧内科 教授

—Nephrology Frontier 誌の足跡と貢献—」とい  
うテーマでこの15年を振り返ってみたいと思  
います。どうぞよろしく願いたします。

腎臓病学は非常に幅が広く、それを取り巻く学  
問の分野は膨大なものだと思います。本日の座談  
会ですべてを網羅することはできませんので、特  
に課題と未来、今後の展望を先生方にざっくばら